



全学人権講演会



難民の声、家族の歴史から考えた 「共に生きるとは何か」



シリアでは長らく過酷な弾圧や戦争が続き、パレスチナ・ガザ地区ではイスラエルによる侵攻で多くの人々が犠牲になつてきました。今もなお、世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。

日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々がいますが、難民認定の壁に突き当たっています。また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます。

（写真は安田菜津紀さんが撮影されたヨルダンのシリア難民キャンプです。）

認定NPO法人Dialogue for People/フォトジャーナリスト

安田菜津紀 さん

日付・場所

2025年12月11日(木)

15:15—16:45

龍谷大学 深草キャンパス
成就館メインシアター
(オンライン同時配信あり)

■ 詳細・お申込

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-17580.html>

■ お問い合わせ

龍谷大学宗教部

TEL : 075-645-7880

Mail : syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp

ポータルからもご案内しております

